

アシスト、DXに欠かせないルールベース AI「Progress Corticon」の新バージョン 6.1 を提供開始 ～ルールモデリング機能とデータベースアクセス機能を強化～

株式会社アシスト(本社:東京都千代田区、URL:<https://www.ashisuto.co.jp/>、略記:アシスト)はデジタルトランスフォーメーション(DX)に欠かせないツールとして注目されているルールベース AI「[Progress Corticon](#)」(開発元:米国 Progress Software Corporation)の新バージョン 6.1 を本日付けで提供開始します。

Progress Corticon は、人の知識をモデル化し、認知情報に対するアクションを自動化することでデジタルトランスフォーメーション/デジタルイゼーションを推進するデファクトスタンダードのルールベース AI です。専門性が高いホワイトワーカーの知的作業を代行する業務自動化 AI として多くの企業に導入されています。新バージョン 6.1 では、特にデータソースへのアクセス機能が強化されました。今までクライアントアプリケーションに依存していたデータ収集処理が、Progress Corticon から様々なデータソースへアクセス可能になることで、開発生産性の向上と業務自動化における意思決定スピードのさらなる向上が見込めるようになりました。

アシストでは、デジタルトランスフォーメーション/デジタルイゼーションを推進する企業に対して積極的に導入提案をしていく予定です。

■「ProgressCorticon バージョン 6.1」について

<主な機能強化点>

(1)ルール開発を効率化する機能の強化

REST サービスやデータベースのメタデータから語彙を自動生成する機能が追加されました。

(2)データソースへのアクセス機能の強化

・Microsoft Dynamics 365

Microsoft Dynamics CRM データソースへの接続が可能になりました。これにより、Microsoft Dynamics CRM とその他データソースのデータを統合し、より最適な意思決定の自動化を実現できます。

・REST サービスへのアクセスサポート

Progress Corticon 付属の Advanced Data Connector 機能から REST データソースへの接続が可能になりました。

・サードパーティ製データベースドライバ取り込み機能の追加

Progress Corticon 付属の Enterprise Data Connector 機能では、システム要件を満たしたデータベースアクセスのみを許可していましたが、サードパーティ製のデータベースドライバ取り込みを可能とすることで、システム要件にないデータベースにもアクセスできるようになりました。これにより、IT に対する深い知識がなくてもルールに基づくデータ処理を自動化できます。

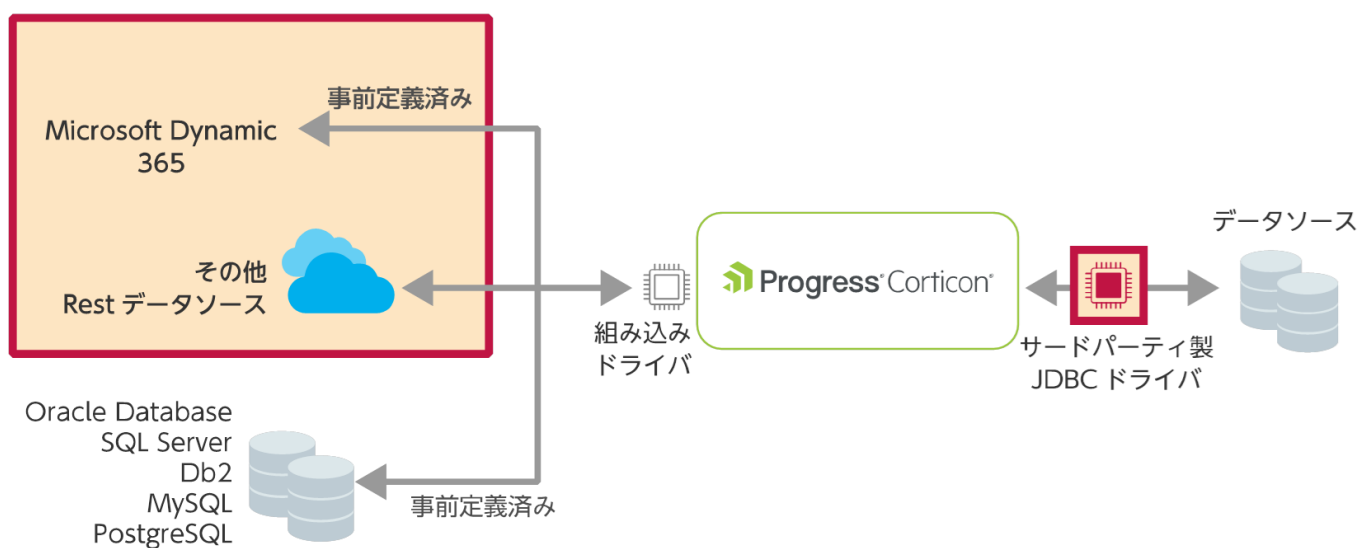
(3)Corticon Server .NET 版の処理速度が大幅に改善

従来の Corticon Server .NET 版の実装方式を大幅に変更したことにより、Corticon Server .NET 版のパフォーマンスが大幅に改善されました。

<詳細 URL>

https://www.ashisuto.co.jp/product/category/brms/progress_corticon/detail/list/V6_1.html

データソースへのアクセス機能の強化



■ ニュースリリースに関するお問い合わせ

株式会社アシスト 広報担当: 田口

TEL: 03-5276-5850

URL: <https://www.ashisuto.co.jp/contact/press/>

■ 「Progress Corticon」に関するお問い合わせ

株式会社アシスト 東日本技術本部 情報基盤技術統括部 担当: 中尾、遠藤

TEL: 03-5276-3653

URL: <https://www.ashisuto.co.jp/corticon/>

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

※ ニュースリリースに記載された製品／サービスの内容、価格、仕様、お問い合わせなどは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。